

第9条 得点方法



9.A 得点

9.A.1 得点の種類

トライ：トライは攻撃側のプレーヤーが相手側のインゴールにおいて、最初にボールをグラウンディングすることによって得られる。

ペナルティトライ：相手側の不正なプレーがなかったならば、ほぼ間違いなくトライが得られたものと認められた場合は、ゴールポストの中央にペナルティトライが与えられる。

コンバージョンゴール：トライが得られた場合には、トライした側がゴールキックによりゴールすることができる。これはペナルティトライにも適用する。これをコンバージョンキックとよび、ブレースキックでもドロップキックでもよい。

ペナルティゴール：ペナルティキックからゴールキックが成功することでペナルティゴールとなる。

ドロップゴール：一般のプレーの中で、ドロップキックからゴールすることでドロップゴールとなる。フリーキックを与えられたチームは、ボールが次にデッドとなるか、相手側プレーヤーがボールをプレーするか触れるか、またはボールキャリアーに対するタックルが成立するまでは、ドロップゴールによって得点することはできない。この規定はフリーキックに代わって与えられたスクラムからも同様に適用される。

価値

5点

5点

2点

3点

3点

第9条 得点方法



9.A.2 ゴールキックの特別な場合

- (a) ゴールキックされた後、ボールが地面かキッカー側のプレーヤーに触れた場合、ゴールは得られない。
- (b) ボールがいったんクロスバーを越えれば、フィールドオブプレーに吹き戻された場合でも、ゴールは得られる。
- (c) ゴールキックが蹴られる際に、相手側が反則を犯しても、キックしたボールがクロスバーを越えたときには、アドバンテージが適用され、ゴールは得られる。
- (d) ペナルティゴールを防ぐ目的でボールに触れてはならない。
罰：ペナルティキック

9.B コンバージョンキック

9.B.1 コンバージョンキックを行う

- (a) キッカーは、不適當でない限り、それまでにプレーしていたボールでキックを行う。
- (b) トライした地点を通る線上から、キックを行う。
- (c) プレーサーとは、キッカーがキックをするためにボールを押さえる味方プレーヤーである。
- (d) キッカーは、ボールを直接地面に置いて、砂、おがくずまたは協会が承認したキック用のティーに置いて良い。

第9条 得点方法



- (e) キッカーは、キックを行う意思を示した後、1分以内にキックを行わなければならない。キックを行う意思表示とは、地面にキックティーや砂を置いたり、キッカーが印をつける行為を言う。キッカーはボールが転がり再度置き直すような場合であっても1分以内にキックを完了しなければならない。

罰：1分以内にキッカーがキックを行わない場合は、キックを禁止する。

9.B.2 キッカー側

- (a) ボールをキックするとき、プレーサーを除くキッカー側のプレーヤーはすべて、ボールの後方にいなくてはならない。
- (b) キッカーもプレーサーの相手側のプレーヤーに早まってチャージをさせるような動作をしてはならない。
- (c) キッカーがボールをキックするため近づき始める前にボールが倒れた場合、レフリーは、キッカーが過度の遅滞なくボールを置き直すことを許可する。ボールが置き直される間、相手側はゴールラインの後方にとどまらなければならない。

キッカーがキックするため近づき始めた後にボールが倒れた場合、キッカーはそのままキックするか、ドロップゴールを行ってもよい。

トライをした地点を通る線上からボールが転がり、外れても、そのボールをキックして、クロスバーを越えればゴールが与えられる。

キッカーがキックするため近づき始めた後にボールがタッチにころがりたときには、キックをすることは認められない。

罰：キッカー側のプレーヤーの反則に対してはキックの禁止。

9.B.3 相手側

- (a) 相手側のプレーヤーはすべて、キッカーがキックするため近づき始めるか、キックをしようとするまではゴールラインに退かなければならず、かつゴールラインを踏み越えてはならない。それ以後はゴールを阻止するために跳び上がってもチャージしてもよいが、その際、他のプレーヤーが身体をサポートしてはならない。
- (b) キッカーがキックするため近づき始めた後にボールが倒れても、相手側はチャージを続けてよい。
- (c) 防御側プレーヤーは、キックが行われる間、大声を発してはならない。
罰：防御側のプレーヤーの反則があってもゴールキックに成功したときは、ゴールは成立する。

ゴール不成功の場合には、チャージが禁止され、キッカーはふたたびキックすることができる。

再度キックを与えられたときは、キッカーはキックのための準備をすべて繰り返してよい。またキックの方法を変更することもできる。